活動名：さいとう医院杯フットサル大会　U-10
日程：平成30年2月10日～11日
会場：小野町町営体育館
参加：エンジョイ3クラス 4 名、エンジョイ4クラス11名
帯同：初日　設楽・佐藤コーチ　2日目　佐藤・佐久間コーチ
結果：アーレ A　2 位リーグ 3 位、アーレ B　2位リーグ1位（敢闘賞）
報告：佐藤コーチ

初日予選リーグ
アーレ A　VS　富田西　0：7　●
アーレ A　VS　守山　0：10●
アーレ A　VS　富田東　3：2　○　予選リーグ 3 位

アーレ B　VS　柴宮　2：6　●
アーレ B　VS　芳賀　7：0　○
アーレ B　VS　小野　5：0　○　予選リーグ 2 位

決勝リーグ
アーレ B　VS　富田　4：3　○
アーレ A　VS　小野　1：8　●
アーレ B　VS　小野　2：1　○
アーレ A　VS　富田　4：2　○
アーレ A　VS　アーレ B 1：4　アーレ B の勝利

アーレ A　7 位
アーレ B　5 位

さいとう医院杯フットサル大会におきまして U-10 を担当いたしましたので報告させていただきます。

今回、さいとう医院フットサル大会の U-10 に 2 チーム参加することとなりましたが、 E4 クラスのみでは人数が足りない為、 E 3クラスにも参加を呼びかけました。
チーム分けは、 A チームは 3 年生、 B チームは 4 年生、 2 日目のみ参加者は人数の関係、出場時間の関係もあり A チームとさせていただきました。

今回の大会に参加するにあたり、以下の点をチャレンジしようと話をしました。

〇攻めるときは、相手をだます動きをしよう。
〇ボールを奪いに行くときに、飛び込まないようにしよう。
〇適当なプレーをしない

この3つのことを確認してのぞみました。

アーレ A については、初日 3 年生のみでしたが、初戦の富田西戦久しぶりの大会でみんなどのような動きをするか、伝えたこと練習していることができるのかと思いながら始まりました。もちろん相手は 4 年生ということもありましたので相手がボールキープする時間も長く攻められることが多くありましたが、みんな怖がることなく相手に向かっていき体を張ってディフェンスをしていました。さらにボールに食らいついて飛び込むことなく、適当なプレーをすることなく一生懸命プレーしていました。攻撃する回数は数えるほどではありましたが、ゴールをめざしてのプレーが見られました。その次の守山戦でも同じような展開となりましたが、体の疲れや集中力が続かない場面もあり、失点を重ねましたが、全体を通して最後まであきらめることなくプレーできていたと思います。最終戦の富田東戦では、積極的なボールを奪う動きが多く 3 試合目にして自分たちのペースでもプレーすることができてきてシュートを打つ場面も多く作ることができ、得点も重ねることができました。
2 日目は 4 年生 2 名も合流しての初戦の小野戦。多くの失点を重ねてしまい、何もできずに敗退してしまいました。要因は明らかで、大会はじめに伝えた「ボールを奪いに行くときに飛び込まないようにしよう」ということが全くできないことにありました。試合になって、気持ちばかりが前に前にというように、勢いよく奪いに行ってしまっていたので、試合後にデモをしながら選手たちに伝えたところ、 2 試合目、3 試合目と修正され失点をへらすことができました。やはり選手たちみんなはやれる力は持っていて、そのことを常に出せるようにならなければならない、そのように導かなければならないと感じました。 4 年生も 3 年生に負けじとチームで気持ちの入ったプレーができていましたので、共々これからが楽しみです。
アーレ B については、初日参加の 4 年生チームでしたが、初戦柴宮戦についは、私もみんなの力を発揮しきれなかった試合となったと思います。試合開始後の緊張感、緊張しながらプレーし続けることによる疲れ、スタミナ切れ、やらなければならないことができない行わないなどにより、失点をしてしまったと思います。私自身このことを修正できなかったことが反省です。みんなもこれから大会初戦の緊張感を乗り切れるよう、気持ちを強く持ったいつも通りのプレーをし続けられるようになってもらいたいと思います。2 戦目からは気持ちも落ち着いたのか、思い切ったプレーが多くみられるようになりました。攻撃も相手のタイミングを外そうとしたり、相手の動きをかわしながら、負けないスピードをもってのプレーも多くできていました。シュートの機会も多くつくることができて、さらに足元の技術がついてくれば、もっと多くのチャンスが生まれるように思いました。さらに、しっかりとキーパーを外したシュート、コースを狙うことができるようになれればと思います。
「相手ボールに飛び込まないようにすること」も奪えるという判断で向かっているのか、ただ判断なく奪いに行っていて結果として奪えているのかと紙一重のところがあるので、その次のイメージを持ちながら危ないプレーをしないようにしなければならないと感じました。
今回の大会の最後の試合は、アーレ A VS アーレ B の対決となりました。お互いわかっている相手とはいえ、その緊張感が良いプレーにつながったり、プレッシャーとなってしまったりと、普段感じられることのない緊張感のある試合となりました。結果としては、4年生の多い B チームの勝利となりましたが、結果だけではない、ひとつひとつのプレーにみんなの成長と課題を感じるこ

とができた試合となりましたし、選手自身もそれを感じることができたのではないかと思います。

今回の大会を通して、4年生と3年生ひとりひとり技術、フィジカル、メンタル様々な個性のある選手たちだと思います。そのひとりひとりの個性がプレッシャーの高い大会でどのように出せるか出せないか見ることができました。ひとりひとりの成長の度合いやタイミングは人によって違いそれぞれです。そのタイミングを逃さないようにこれからもトレーニング、大会を通してみんながサッカーに向き合える、そして戦うことができる選手なれるようにしていきたいと強く感じました。そして、みんなが優勝を目指してプレーしていましたが、また、次の試合、大会で闘うプレーを通して、勝利を目指していきたいと思います。

今回の大会もご父兄のみなさまにおきましては、暖かい応援・声援を送っていただき感謝いたします。これからも選手たちの成長を見守っていただきたいと思います。

そして、最後に大会を開催していただきました小野サッカースポーツ少年団のみなさま、素晴らしい大会で2日間通してとてもよい経験を積むことができました。ありがとうございました。また、これからもよろしくお願いいたします。

コーチ：佐藤

FC ALLEZ